

# 全学共通科目総合系科目 立教サービスラーニング(RSL)

## 立教サービスラーニング(RSL)の概要

**R** RIKKYO = 立教  
**S** Service = 奉仕(社会的活動)  
**L** Learning = 学習

SLとは

### Service Learningとは

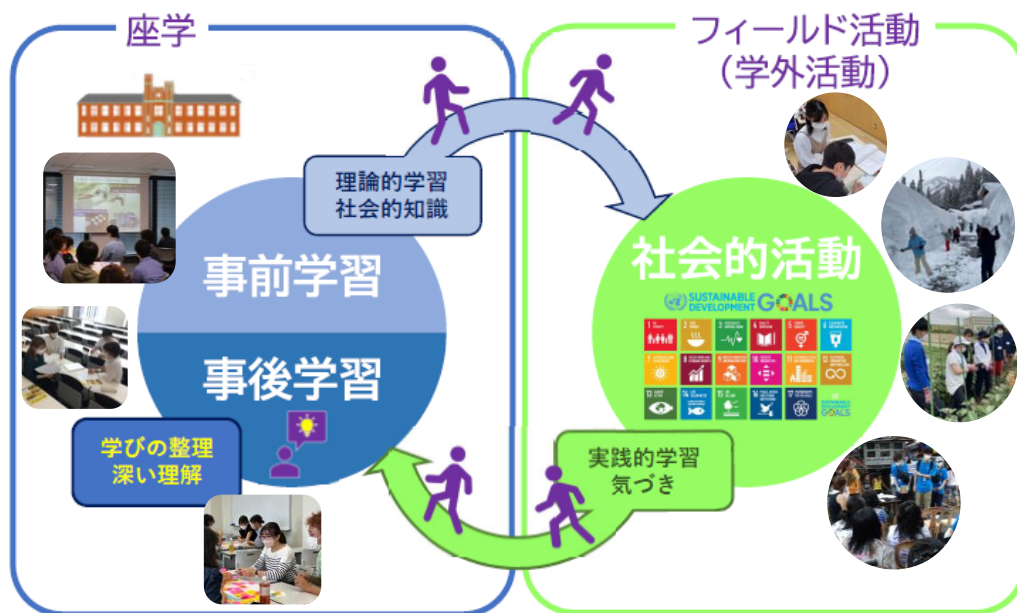
社会の現場での活動(Service)と教室における学問的な学び(Learning)を結びつけることを目指す実践型の教育プログラムです。

サービスラーニングでは3つの学修過程を重視しています。

**事前学習:**社会的課題やその背景について専門的な視点で学ぶ。

**現地活動:**学んだ知識や理論を土台に、社会の現場で様々な人や団体と協同しながら活動し、社会課題についての理解を深め、その解決に必要な思考を養う。

**事後学習:**自分の気づきや、学びを振り返り学問的に意味づける。その後の大学や社会での活動に活かしていく。



RSL講義系科目では様々な社会課題について多角的に学びます。  
RSL実践系科目では学外活動を含むサービスラーニングの3つの学修過程を実際に経験し、社会で必要とされる様々な力を身につけます。

春  
学期

# RSL講義系科目紹介

## 特徴

講義をもとにグループディスカッションや発表を行うほか、実際に社会の現場で活動する多彩なゲストスピーカーから講義が受けられるなど、「座学」だけでは終わらない科目群です。

## 大学生の学び・社会で学ぶこと



立教大学の「共に生きる」という精神は大学4年間の学びのカリキュラムと深くかかわっています。

前半5回の講義では、チャプレンや大学職員から立教大学の建学の精神や歴史、ボランティアなどの正課外教育活動について学びます。

6回以降の講義では、各科目担当者の専門領域の知見を通して、「大学で学ぶこと」と「社会とつながること」の意味についてクラス全体で考えていきます。

水・2  
(池袋)

福原 充 先生  
(専門:教育学)

金・1  
(池袋)

中川 英樹 チャプレン  
(専門:キリスト教学)

木・2  
(新座)

中沢 聖史 先生  
(専門:平和教育)

## RSLゼミナール

「『平和』ってなんだろう?」「日本は、いま、平和?」皆さんはどのように説明できますか?

このゼミでは過去の戦争や内戦の事例から平和教育の役割や可能性について理解を深め、日本で起きている身近な出来事や世界中の課題に触れながら、平和とはなにかを多角的な視点で学びます。

火・2  
(池袋)

中沢 聖史 先生

新規開講

## 対話を学ぶ

サービスラーニングによる学びで重視される要素に「対話」があります。対話は、自己との対話(省察)、現場の人々との対話など、サービスラーニングの基本ともいえる重要なキーワードです。この授業では、平和構築をテーマとして、「対話が大切である」という前提を多角的に考察し、なぜ平和構築において対話というツールが重視されるのかを学びます。

木・4  
(新座)

中沢 聖史 先生

春  
学期

# RSL実践系科目紹介

## RSL-ローカル(地域共生)



学外  
活動

8/1(木)~8/5(月)に埼玉県熊谷市  
で宿泊型のフィールド活動を実施します。

3 すべての人に  
健康と福祉を



8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



11 住み続けられる  
まちづくりを



### 【ローカルな視点からWell-Beingのあり方を考える】

埼玉県熊谷市をフィールドとして、「農福連携」に取り組む企業での農作業や地域に根差した「農からはじまる暮らし」の体験をとおして、地域における社会的包摂のあり方やローカルな視点から持続可能な社会をつくるために必要な視点や方法を学びます。

水・3  
(池袋)

加賀崎 勝弘 先生

事前  
学習

6/19、6/26、  
7/3、7/10

事後  
学習

8/21(水)  
13:00~20:30

※RSL実践系科目は、「事前学習→学外活動(フィールドワーク)→事後学習」のすべての出席が必要となります。

3  
/26

説明会 14:00~15:00 オンライン(Zoom)開催

※詳細は3月上旬ごろ「立教時間」にてお知らせします。

※青字…池袋キャンパス、赤字…新座キャンパス

春学期										
時限	1時限 (8:50~10:30)		2時限 (10:45~12:25)		3時限 (13:25~15:05)		4時限 (15:20~17:00)		5時限 (17:10~18:50)	
曜日	科目名	担当者	科目名	担当者	科目名	担当者	科目名	担当者	科目名	担当者
月										
			RSLゼミナール	中沢聖史						
水			大学生の学び・ 社会で学ぶこと	福原充	RSL-ローカル (地域共生)	加賀崎勝弘				
木			大学生の学び・ 社会で学ぶこと	中沢聖史			対話を学ぶ	中沢聖史		
金	大学生の学び・ 社会で学ぶこと	中川英樹								

## 注意事項 — 春学期RSL実践系科目

### 「RSL-ローカル(地域共生)」の履修について —

【対象】 全学部2年次生~4年次生

【登録方法】 抽選登録

(2024年度春学期抽選登録受付期間内に各自登録手続きを行うこと)

【その他】

- ・具体的な登録方法、登録スケジュールと授業内容や費用、履修に当たっての注意事項については、各科目の「シラバス」およびRSLセンターホームページで公開している「履修の手引き」を参照すること。
- ・履修を希望する場合は事前説明会(3/26(水)14:00~15:00オンライン開催)に必ず参加すること。説明会のURL等詳細は、立教時間(3月上旬公開予定)、SPIRITメール等で確認すること。
- ・事前・事後学習および学外活動(フィールドワーク)は全日程に参加しなければならない。
- ・原則として履修登録後の辞退は認められない。やむを得ない事情で活動を辞退する場合は所属キャンパスのRSLセンターの指示に従い、所定の手続きが必要である。  
なお、辞退した場合にはキャンセル料が発生する場合がある。

## 大学生の学び・社会で学ぶこと

春学期開講の同科目のうち、平和教育を専門とする中沢聖史先生の授業を、池袋キャンパスで開講します。

水・3  
(池袋)

中沢 聖史 先生

## SDGsと現代社会の課題とその関わり方入門

気候変動、ジェンダーの不平等、貧困と格差—私たちが直面する地球規模の課題をSDGsというレンズを通して見つめます。この授業では、企業の社会貢献部門の担当者や、国際協力NGOのスタッフ、地方創生に取り組むNPOの職員など、課題解決の最前線で活躍するゲストスピーカーを迎え、SDGsと現代社会の課題を多角的に考察します。

木・3  
(池袋)

中沢 聖史 先生

## カーボンニュートラル人材育成講座

近年、極端な熱波、干ばつ、熱帯低気圧の強大化、豪雨などの異常気象が、世界中の人々の生活に深刻な被害をもたらし、生態系にも大きな影響を与えています。この授業では、地球環境の現状をファクトに基づき理解した上で、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする取り組み（カーボンニュートラル）について深く学び、実際に企業や組織においてカーボンニュートラルを実現するための施策を提案・実行できる人材を育成することを目標とします。

金・2  
(新座)  
(池袋)

河村 賢治 先生 (新座)  
村上 千里 先生 (池袋)

## 経験から学ぶ、世界とつながる

広島・長崎への原爆投下から、ビキニ環礁で行われた一連の核実験、そして近年のウクライナ危機により増大する核の脅威など、核は今日まで繰り返し国際社会を分断してきました。この授業では、「核」をひとつの事例として、世界が直面する課題に対する国や地域の異なる視点を理解し、グローバルシティズンシップについて理解を深めます。

火・2  
(新座)

畠山 澄子 先生

## シティズンシップを考える

2022年4月から成年年齢が18歳に引き下げられ、私たちは「子ども」と「大人」の境界線や「市民」の意味といった問いに今改めて直面することになりました。この授業では、受講生同士のグループディスカッションと発表を通して、現代社会における諸課題と社会参加の方法について考えます。

金・2  
(池袋)

堀本 麻由子 先生

秋  
学期

# RSL実践系科目紹介

## RSL-コミュニティ」(埼玉)



学外  
活動

10月中旬～12月中旬に埼玉県内各所の「アポート学習教室」での学習支援活動を行います。

1 貧困を  
なくそう



4 質の高い教育を  
みんなに



生活困窮世帯に暮らす中学生を対象とした埼玉県内の学習支援事業に参加し、活動を通じて生活保護制度の運用実態に触れるとともに、見えづらくなった貧困と格差、社会的包摂を巡る諸問題についての理解を深めます。

金・5  
(池袋)

田中 聡一郎 先生

事前  
学習

9月下旬～10月中旬  
の期間で4回(予定)

事後  
学習

12月中旬～1月中旬  
の期間で4回(予定)



## RSL-コミュニティ(池袋)



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



### 学外活動

10月中旬～12月中旬に豊島区周辺に在住・在勤している方や、地域社会で活動する方へのインタビューを実施します。

多文化共生の視点から池袋地域における相互連帯のあり方を考える  
外国籍住民も増え続けるなど、急速にグローバル化が進み変貌を  
遂げる池袋地域をフィールドとして、「多文化共生と地域連帯」という  
テーマに取り組みます。

水・3  
(池袋)

福原 充 先生

事前  
学習

9月下旬～10月中旬  
の期間で4回(予定)

事後  
学習

10月中旬～12月中旬  
の期間で4回(予定)

## RSL-ローカル(南魚沼)



11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



### 学外活動

2025年2/4(火)～2/7(金)に新潟県南魚沼市での宿泊型フィールド活動を実施します。

農山村地域での交流から考える自然との共生と持続可能なまちづくり  
農山村地域での生活体験を通して、過疎・高齢化地域の現実や  
「豊かさ」の意味と向き合い、地域に住む方たちと共に地域活性や  
自然との共生のあり方を考えます。

集中  
(池袋)

高野 孝子 先生

事前  
学習

12月7日(土)  
13:30～17:30

事後  
学習

2月26日(水)  
13:00～16:00

# RSL-グローバルA

12 つくる責任  
つかう責任



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも  
守ろう



17 パートナースHIPで  
目標を達成しよう



## 学外活動

2025年2/4(火)~2/6(木)、2/8(土)、2/9(日)に東京都江戸川区荒川周辺でフィールドワークを実施します。

### 実践SDGs-河川/海洋ごみ問題の現場から学ぶ社会課題-

世界的に注目される海洋ごみ問題がその他の社会課題と相互につながっていることを、講義や東京都江戸川区荒川河川敷でのフィールドワークを通じて認識し、課題の構造やその解決に向けた視点を養います。

月・3  
(池袋) 今村 和志 先生

事前学習 12/2、12/9、12/16

事後学習 2/17(月)・2/18(火)  
3限

# RSL-グローバル(フィリピン)



1 貧困をなくそう



3 すべての人に健康と福祉を



## 学外活動

2025年2月上旬にフィリピンのトリニティ大学を拠点に周辺地域での支援活動を行います。

### アジア地域の大学連携による活動で国際的な課題と向き合う

フィリピンのケソン市にあるトリニティ大学が展開するサービスラーニングプログラムに参加します。活動先のコミュニティで深刻化する社会格差について、国内外の学生がチームとなり、地域に寄り添う具体的な手法を国際的な視点で検討します。

集中  
(池袋) 中沢 聖史 先生

事前学習 9月28日(土)午後  
12月14日(土)午後

事後学習 3月8日(土)  
午後

※青字…池袋キャンパス、赤字…新座キャンパス

秋学期										
時限	1時限 (8:50~10:30)		2時限 (10:45~12:25)		3時限 (13:25~15:05)		4時限 (15:20~17:00)		5時限 (17:50~18:50)	
曜日	科目名	担当者	科目名	担当者	科目名	担当者	科目名	担当者	科目名	担当者
月					RSL-グローバルA	今村和志				
火			経験から学ぶ、世界とつながる	畠山澄子						
水					大学生の学び・社会で学ぶこと RSL-コミュニティ(池袋)	中沢聖史 福原充				
木					SDGsと現代社会の課題とその関わり方入門	中沢聖史				
金			シティズンシップを考える	堀本麻由子					RSL-コミュニティ(埼玉)	田中総一郎
			※1 カーボンニュートラル人材育成講座	村上千里 河村賢治						
土					RSL-グローバル(フィリピン) 事前学習:9月12月	中沢聖史				
					RSL-ローカル(南魚沼) 事前学習:12月	高野孝子				

※1:池袋キャンパス、新座キャンパスで対面授業を行い、両教室をオンラインでつなぐ遠隔授業の形態で開講する。

## 注意事項

### — 秋学期RSL実践系科目の履修について —

【対象】 全学部学生

【登録方法】 「RSL-ローカル(南魚沼)」のみくその他登録  
その他の科目はく抽選登録

【その他】

- ・具体的な登録方法、登録スケジュールと費用等履修にあたっての注意事項については、各科目の「シラバス」および8月上旬RSLセンターホームページで公開予定の「履修の手引き」を参照すること。
- ・履修を希望する場合は事前説明会に必ず参加すること。説明会は7月上旬(昼休み)と8月下旬を予定している。  
詳細は立教時間(6月上旬公開予定)、SPIRITメール等で確認すること。
- ・事前・事後学習および学外活動(フィールドワーク)は全日程に参加しなければならない。
- ・原則として履修登録後の辞退は認められない。やむを得ない事情で活動を辞退する場合は所属キャンパスのRSLセンターの指示に従い、所定の手続きが必要である。  
なお、辞退した場合にはキャンセル料が発生する場合がある。